

その他の港湾運送業における労働災害発生状況（1999-2022年）

その他の港湾運送業 コードNo.050209

その他の港湾運送業における事故の型別労働災害発生状況（1999-2022年）

事故の型	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
墜落・転落	7	4	11	10	7	8	11	8	10	9	7	8	6	7	6	8	2	3	7	7	4	3	2	4	159
転倒	4	3	3	2	3	5	5	3	3	1	4		1	1	3	3	2	3	5	3	5	5	2	7	76
激突	2	5	3	2	2	2	2	2	3	6	2	3	4	4		3	2		2	3	4	1	2	1	60
飛来・落下	1	1	6	3		2	3	1	5	2	3	1	2		2	1	1	4	3	2	2		3	3	51
崩壊・倒壊			1		1	3	1	1	1				1	2		1	1			1		3			17
激突	2	2	3	5	4	2	1	4	4	1	1	7	1	2	3			1	1		1	4	2	3	54

され																									
はさまれ																									
巻き込まれ	6	8	5	6	4	8	5	4	5	4	2	5	13	6	4	5	3	6	4	3	4	2	7	3	122
切れ・こすれ	1		2				1	1			1		1	1		1					2			1	12
踏抜き																							1	1	2
おぼれ	1	1		1		1	2										1	1							8
高温・低温物との接触																									
有害																									
		1		1									2					2	1	3					10

物との 接触																	1						1		
感電																									
爆発																									
破裂																									
火災																									
交通 事故 (道 路)		1		1	2	2	1		4		1					3		2				4	21		
交通 事故 (そ の 他)																				1			1		
動作 の反 動無 理な 動作	3	3	2	2	2	2	4	1	4	4		2	3	3	3	3	2	3	4	2	3	3	5	1	64

機、粉 碎機																							
ロール 機（印 刷ロー ル機を 除 く。）														1									1
射出成 型機																							
食品加 工用機 械							1																1
印刷用 機械																							
産業用 ロボッ ト																							
その他 の一般 動力機															1							1	2

フト																										
揚貨装置											1													1		
ゴンドラ																										
機械集材装置、運材索道																										
簡易架線集材装置																										
その他の動力クレーン等																1	1	1			1			4		
トラック			3		4		4	3	3	3	4	1	3	3	1	3			2	3	1	1		42		
フォークリフ			1		5		4	1	5	3	1	1	1	2	3	2	2	2	2	4		4		1	1	43

立木等																									
水						1											1							2	
異常環境等																	1							1	
高温・低温環境																	2	1	3					6	
その他の環境等									1		1											2		4	
その他の起因物														1						1	1			3	
起因物なし									1			2	1	2	2		1	1	2	2	2	3		19	
分類不能								1																1	
合計	27	29	36	33	25	35	36	25	39	28	21	27	35	24	21	28	14	26	27	24	26	27	24	23	660

その他の港湾運送業における年齢別労働災害発生状況（1999-2022年）

者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	計
9人以下	4	8	6	4	5	11	8	6	8	8	10	2	5	6	6	1	2	4	4	6	4	7	4	5	134
10人-29人	10	9	10	13	6	8	16	16	19	12	5	14	13	4	6	9	7	10	7	7	13	9	8	4	235
30人-49人	8	7	9	6	2	6	3		2	4	2	5	6	4	3	9	3	5	4	5	7	7	6	9	122
50人-99人	2	3	3	4	6	2	4	2	4	3	3	4	4	3	3	6		3	7	4		2	3	4	79
100人-299人	1	2	8	4	6	8	5	1	6	1	1	2	7	6	3	2	1	4	5	2	2	2	3	1	83
300人以上	2			2										1		1	1								7
合計	27	29	36	33	25	35	36	25	39	28	21	27	35	24	21	28	14	26	27	24	26	27	24	23	660

その他の港湾運送業における月別労働災害発生状況（1999-2022年）

徳島												1													1
香川													2	2	1							2		2	9
愛媛		1	3		4			1	1	2	1	1	4	4		2						1			25
高知		1													1					1					3
福岡	1	2			5		1	2	3		3	2	5	2		2	2	4	4	2	1		2		43
佐賀																									
長崎			1									1	1		1		1	1	3	1					10
熊本																								1	1
大分													2									2		2	6
宮崎																								1	1
鹿児島									1													1	1	1	4
沖縄								1																	1
合計	27	29	36	33	25	35	36	25	39	28	21	27	35	24	21	28	14	26	27	24	26	27	24	23	660

休業4日以上の労働災害（職業性疾病を含む。）を計上。2022年のデータは新型コロナ罹患を含まない。2021年、2020年のデータは新型コロナ罹患を含む。2011年のデータは東日本大震災による労働災害を含む。

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.htmlに戻る。

れ巻き 込まれ									1													1
切れ・ こすれ																						
踏抜き																						
おぼれ			1		1	2									1	1						6
高温・ 低温物 との接 触																						
有害物 との接 触																1						1
感電																						
爆発																						
破裂																						
火災																						
交通事 故（道 路）																				1		1

交通事故（その他）																								
動作の反動無理な動作																								
その他																								
分類不能																								
合計	1	2		1	1	1	2			1						1	1	2		1		1		15

その他の港湾運送業における起因物（大）別死亡災害発生状況（1999-2022年）

起因物（大）	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
動力機械																									
物上げ装置、	1	1		1	1	1	1			1							1			1			1		10

備																								
仮設 物、建 築物等																								
危険 物、有 害物等																								
材料																								
荷		1																						1
自然環 境等							1										2							3
その他 の起因 物																								
起因物 なし																								
分類不 能																								
合計	1	2		1	1	1	2			1					1	1	2		1		1		15	

能																								
合計	1	2		1	1	1	2			1						1	1	2		1		1		15

その他の港湾運送業における年齢別死亡災害発生状況（1999-2022年）

年齢	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計	
19歳以下																		1							1	
20歳-29歳																										
30歳-39歳	1																1			1					3	
40歳-49歳							1									1									2	
50歳-59歳		2		1	1		1																		5	
60歳以上						1				1								1				1			4	
合計	1	2		1	1	1	2			1						1	1	2		1		1			15	

その他の港湾運送業における死亡者規模別死亡災害発生状況（1999-2022年）

労働者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
9人以下				1		1				1															3
10人-29人	1	2		1		1	1										1	1		1					9
30人-49人																						1			1
50人-99人																		1							1
100人-299人																1									1
300人以上																									
合計	1	2		1	1	1	2			1						1	1	2		1		1			15

その他の港湾運送業における月別死亡災害発生状況（1999-2022年）

徳島																							
香川																							
愛媛																							
高知																							
福岡																		1					1
佐賀																							
長崎																							
熊本																							
大分																				1			1
宮崎																							
鹿児島																							
沖縄																							
合計	1	2		1	1	1	2			1					1	1	2		1		1		15

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

その他の港湾運送業における死亡災害事例 (1999-2021年)

年	月	発生時	死亡災害事例	起因物 (小)	事故の型	労働者規模
2020	10	12 ～ 14	最大積載量16800kgのミルクタンクトレーラーに生乳を積載して輸送中、横断道路の交差点に右折進入したところ、曲がりきれず、道路左側の防護壁に衝突し、約10m下の県道にミルクタンクトレーラーとともに転落したものの。	トラック	交通事故 (道路)	30 ～ 49
2018	6	14 ～ 15	被災者は、事業場が使用している駐車場（輸出車の保管スペース）に、輸出リストに載っている車種を確認するように指示され、事業場所有のワゴン車で海岸沿いを運転していたが、なんらかの理由で、岸壁にある鉄製の停留柱に激突し、そのまま海中に沈み、約40分後にレスキュー隊に引き上げられたが溺死していた。	乗用車、バス、バイク	墜落・転落	10 ～ 29
2016	7	10 ～ 11	事業場所有の台船が浸水したため、同社所属の労働者は、埠頭に台船に係留し、マンホール内部に立ち入り浸水箇所の特定を行おうとしたところ、台船内部が酸素濃度14%となっており、酸欠により心肺停止の状態に陥り、搬送先の病院で死亡が確認された。	異常環境等	有害物との接触	10 ～ 29
2016	10	14 ～ 15	被災者ら3名は、はしけを用いて沖に係留していた船から、バイオマス発電所に使用する木質チップを移送し、はしけを陸に接岸する作業を行っていた。木質チップを積載したはしけを接岸し、係留ロープの設置等の作業を行っていたところ、はしけに係留されていたタグボートの係留ロープが外れ、無人で流れて行ったため、被災者がタグボートに乗るため、海に飛び込み、タグボートに乗ろうとしたが、おぼれた。	水	おぼれ	50 ～ 99

2015	7	17 ～ 18	被災者は曳航船に曳航されたはしけに1人で乗船し、平成27年7月22日午後4時頃に港の埠頭を出港、同日午後5時30分頃に到着地の港内港船だまりに到着したが、到着時に被災者がはしけに乗船しておらず行方が分からなくなっており、同年7月26日に川の河口付近に浮かんでいるのが発見されたもの。	その他 の乗物	おぼ れ	10 ～ 29
2014	3	7 ～ 8	被災者は、バージ船による大型タンカーへの潤滑油補充作業の立会い業務に就くために、バージ船から大型タンカーへかけられた縄梯子を上っている際、約7メートルの高さからバージ船の甲板に墜落した。	はしご 等	墜 落・ 転落	100 ～ 299
2008	10	15 ～ 16	はしけを係留したバース内において、トラックに積まれたコンテナを降ろすために前進して来たストラドルキャリアーに被災者がひかれ死亡した。	ストラ ドル キャリ ヤー	はさ まれ 巻き 込ま れ	1～ 9
2005	12	4 ～ 5	曳き船の出航準備中、接舷していた浮き棧橋と曳き船の隙間から海中に転落した。	水	おぼ れ	1～ 9
2005	12	17 ～ 18	舳から岸壁への荷揚げ作業終了後、舳を曳航中に、海に転落した。	その他 の乗物	おぼ れ	10 ～ 29
2004	10	11 ～ 12	曳き船を用いてはしけを曳航中、海中に転落しおぼれた。	その他 の乗物	おぼ れ	10 ～ 29
				乗用		

2003	2	9 ～ 10	埠頭内のモータープールを歩行していて、駐車中の車の中から出てきたところ走行中の車にはねられた。	車、バ ス、バ イク	激突 され	1～ 9
2002	1	14 ～ 15	岸壁に接岸していた舢舨（全長33.5m、幅7.8m 積載量400 t）に鋼管約64 t を積み終えた後、舢舨の船長が単独で曳航前の準備を行って海に墜落した。	その他 の乗物	おぼ れ	10 ～ 29
2000	11	15 ～ 16	船倉内において、ドリルパイプ(長さ約9メートル、質量約170 k g)1499本を積み付けてワイヤーロープで固縛中に、崩れてきたドリルパイプの下敷きになった。	荷姿の 物	崩 壊・ 倒壊	10 ～ 29
2000	2	11 ～ 12	倉庫内で、フォークリフトに輸入米を積んでバックで走行していたときに、他社の労働者が運転するフォークリフトの荷に激突し胸腹部を挟まれた。	フォー クリフ ト	激突	10 ～ 29
1999	4	5 ～ 6	コンテナ船の出港手続をするため、業務用の乗用車で事務所から約300メートル離れた岸壁に向かっていたときに、乗用車ごと岸壁から海へ転落した。	乗用 車、バ ス、バ イク	墜 落・ 転落	10 ～ 29

2021年、2020年の事例は新型コロナ罹患を含む。2011年の事例は東日本大震災による労働災害を含まない。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.htmlに戻る。

